矢祭町立東舘小学校　学校通信　平成２２年度　第２９号　発行者　校長　宍　戸　仙　助

わかあゆ

平成２２年１０月１２日号

毎日小学生新聞の無償提供を受ける。



東舘小学校は、今年度「財団法人日本新聞教育文化財団」の認定を受けて、９月から中央紙５社と地方紙３社の計８社の新聞を無料で購読させていただいています。子どもたちは、新聞を授業で活用する場面を探したり、５・６年生の新聞係の児童を中心に、興味関心のある記事を切り抜きスクラップする活動に取り組んでいます。

新聞には、大人が読むための様々な新聞以外に、国内では、小学生が読むための「小学生新聞」なども発行されています。「毎日小学生新聞」、「朝日小学生新聞」、「読売小学生新聞」、などです。東京などでは、これらの新聞で取り上げられた記事が、名門私立中学校の入学試験に出題される場合もあることなどから、多くの購読家庭があります。

その「毎日小学生新聞」が、今週から来年の３月まで、原則として毎週月曜日（月曜日が休日の場合は火曜日）に、４～６年生の全児童に１部ずつ無料で配られることになりました。これは、毎日新聞（東京都千代田区）の販売局販売第五部からの提供によるものです。

ＮＩＥへの取り組みやこれらをきっかけとして、子どもたちが新聞（文字や活字）を通して、社会の様々なできごとにさらに関心を深めたり高めたりしながら、心豊かな子どもに育ってくれることを願っています。

エコキャップ、１２５kgを寄託。



児童会運営委員会（４～６年生の運営委員 11 名）が中心となり取り組んできた「ペットボトルのキャップを集めて、世界中の恵まれない子どもたちのワクチンの費用に！」という「エコキャップ運動」は、先週末で 125kg、約 50,000 個となり、生田目新聞店に寄託しました。

このエコキャップは、800 個で一人分のワクチンになることから、今回の量は、62.5 人分の量となりました。世界には、まだ、ワクチンがないために死亡する子どもたちが一日約 6,000 人もいるそうです。

昨年度の児童会の取り組みで 50kg を寄託しているので、今回と合わせて計 175kg となりました。町内の商店の方から、また、茨城県大子町の特別養護老人ホームなどからも協力いただいていることを、子どもたちと一緒に感謝したいと思います。この活動は、今後も継続していきます。